

第75回 兵庫県高等学校選手権水泳競技大会注意事項

兵庫県高等学校体育連盟水泳専門部

コロナウイルス感染対策について

※今大会は無観客試合です。出場選手・マネージャー・引率教諭・競技役員以外の上場はできません。

1. 発熱等の症状がある場合は、参加しないで下さい。
2. 参加する前に接触確認アプリをインストールして下さい。また、感染拡大防止のために主催者から連絡先登録等の求めがある場合には積極的に応じて下さい。
3. 選手・マネージャー・引率教諭・競技役員は、マスクを着用して下さい。
4. チームにひとつ、アルコール等の手指消毒用薬を用意して下さい。使用した場所の消毒をして退館して下さい。
5. 更衣室の密を避けるため、選手は水着を家から着用して会場に来るようにして下さい。
6. 更衣室の密を避けるため、男子は本プール側の男子更衣室のみを、女子は本プール側の女子更衣室および25mプール側の男子・女子更衣室を使用できます。
7. 選手・マネージャー・引率教諭・競技役員とも自宅で検温し、健康チェック表に記入の上、当日提出して下さい。(忘れた場合は、会場で検温の上、健康チェック表に記入後の上場となります。)
8. 観客席は間隔を空けて指定しますので、上場抽選は行いません。シートの持込は禁止します。ただし、一人用のシート・マット類の使用は許可します。
9. 控え場所では人との距離、座席間の距離を保って下さい。(各校で厳重に管理指導をお願いします)
10. 声を出しての応援はしないで下さい。
11. 体調不良を感じた時は、速やかに引率顧問、または競技役員に申し出て下さい。

一般的事項

1. 貴重品の管理は各チームで行って下さい。
2. ウォーミングアップはダイビングプール、25mプールのみとします。競技開始前の本プールの練習は所定の時間とします。
3. アリーナはプールサイド全域とするので、宣伝・広告の媒体にならないように注意して下さい。
4. 予選は全てタイムレースで行い、決勝進出は全種目8名(またはチーム)とする。決勝進出において同記録で定員より増加した場合は、スイムオフを行います。ただし400m以上の種目については抽選とします。
5. 決勝進出者(決勝スタートリスト)ならびに予選・決勝の記録は兵庫県水泳連盟ホームページ内の速報で確認して下さい。
6. 8位までの入賞者には賞状が出ます。3位までの入賞者(チーム)は競技終了後に表彰を行います。4位以下の入賞者は2階電光表示板下バックスタンド側のカウンターまで受け取りに来て下さい。
7. 8位までの選手(またはチーム)は近畿大会に申し込むことができます。また、9位以下でも全国大会の標準記録を突破した選手(またはチーム)も申し込むことができます。
8. 近畿大会のリレー種目にエントリーについては、本大会でリレー種目を泳いだ選手に加え、各リレー種目につき補欠1名まで追加することができます。なお近畿大会当日、個人種目でエントリーしている選手に変更することができます。
9. 近畿大会の申込み説明会は本大会期間中の各日予選競技終了後に1階ロビーにて行います。
10. 大会の結果は、日本水泳連盟のホームページに掲載されます。
11. 飛込、水球競技に関する事項は別途指示します。

競技について

1. 棄権の場合、本人またはチームの責任者が棄権用紙に記入し招集所に事前に届け出て下さい。
2. リレー種目のオーダーの提出時間は、予選レース開始の30分前、決勝レースは1時間前までに招集所へ提出して下さい。(競技者名はフルネームで記入し、選手番号を記入) 学校名の略称及び選手番号はプログラムの記載のものを使用して下さい。
3. 棄権用紙ならびにリレーオーダー用紙は予選・決勝ともに下記の1次招集所へ提出して下さい。
4. 招集については、1次招集を2階バックスタンド・ダイビングプール側で行い、その後指示に従ってプールサイドに移動します。なお、決勝競技の招集は1階メインスタンド下・中央の招集所で行います。招集時刻についてはプログラムで確認して下さい。
5. 競技に参加する選手は必ずマスクを着用のうえ、招集員の点呼を受けて下さい。
6. 衣類など身の回りのものは、個人で用意した袋に入れて持ち運んで下さい。
7. 水着・スイミングキャップ・ゴーグル以外に装身具を着用してはいけません。
8. レース前に体をぬらす場合はプールサイドに用意された容器内の水を利用して下さい。リレーの際、次の泳者に水をかけると失格になります。
9. 本競技会は、5段階可動式スターティングブロック付きのスタート台（傾斜角度10度）・バックストロークレッジを使用します。
10. 競技のスタート（出発）は1回とします。
11. 背泳ぎは足から入水し、速やかにスタート位置について下さい。
12. 折り返し及びゴールはタッチ板の有効面にタッチし、十分な圧力を加え作動させて下さい。
13. スタートはオーバー・ザ・トップ方式で行います。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに横退水して下さい。ただし、背泳ぎ、リレー種目については、速やかに自レーンより退水して下さい。審判長の指示なく横から上がると失格になります。